

本書は、オープンなソーシャル開発を目的としたものではなく、
閉鎖的な企業内開発にgitを利用する事を目的としてまとめたものです。

クライアントはWindowsでGUI操作するものとし、利用者の敷居を下げて、
多数のスタッフがgitを扱える状態にする為に、ワークフローやユーザー管理、
サーバーのバックアップ、拠点間（遠隔地）での開発といった点について、
ある程度定型化するようにしています。

サーバー構成など、調査資料をそのまま示し、選択の幅を持たせるようにして
いますが、基本的にはその調査の結果採択したRhodeCodeをワークフローに
組み込んで扱う物としています。

以上